

単元名 Unit 9 Think Globally, Act Locally

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 不定詞（名詞的用法）や、〈look＋形容詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。また、行きたい国やそこでしたいことについて、お互いの考えを、尋ねたり答えたり、人やものの様子について、理解したり伝えたりすることができる。
- (2) 将来の夢や希望、世界や地域の問題を伝えるために、したいことやしようとしていることについて読み取ったり、自分の思いを伝え合ったり書いたりすることができる。また、人やものの様子を知るために、話し手や書き手の視覚的な判断について、聞き取ったり、読み取ったりすることができる。
- (3) 世界や地域の問題を知り、将来の夢や希望を伝えたりするために、したいことやする必要があることについて、自分の思いを伝え合ったり書いたりしようとする。また、人やものの様子を説明するために、話し手の視覚的な判断を伝えようとする。

標準的な展開例

10250206_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Starting Out 世界の子どもたちの実情を知り、単元全体の概要を学習する。</p> <p>★世界の子どもたちが今していることや、自分たちがしたいことを尋ね合ったり聞き取ったりしよう。</p> <p>○単元の最後にポスターを作成することを伝える。</p> <p>○ Warm-upを行う。</p> <p>○ Enjoy Listeningを行う。</p> <p>○ Previewを行う。</p> <p>2 Story1 スピーチを聞いて、したいことやしようとしていることの伝え方を学習する。</p> <p>★将来の夢や希望を伝えるために、したいことやしようとしていることについて伝えよう。</p> <p>○ Teacher's Talk を聞き、質問に答える。</p> <p>○ 本文と質問を聞き、問題に答える。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ 不定詞（名詞的用法）の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。</p> <p>○ Practiceに取り組む。</p> <p>○ 書く活動に取り組む。</p> <p>3 Story2 会話を聞いて、相手のしたいことやする必要のあることについての尋ね方や答え方を学習する。</p> <p>★相手の希望を知るために、したいことやする必要のあることについて尋ねたり答えたりしよう。</p> <p>○ Teacher's Talk を聞き、質問に答える。</p> <p>○ 本文と質問を聞き、問題に答える。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p>	<p>・ p93のUnit Activityを見せ、単元最後の目標を意識させる。</p> <p>・ 単元のループリック表などを作成して配布し評価の基準を事前に伝え、見通しをもって単元の学習をするように促す。</p> <p>・ 世界的な問題や地域的な問題について、どんな問題提起をしたいかを考えながら学習を進めていくよう伝える。</p> <p>・ ペアでお互いに英語で話し合わせ、A?Cの全てのパターンについて会話をさせる。</p> <p>【評】 戸田先生とメグが話していることを聞き取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ メグはどのような人になりたいと言っているかを話し合わせて、次回の予告として紹介する。</p> <p>・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。</p> <p>・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。</p> <p>・ 閉本した状態でリスニングをさせ、メグが目標とする人がどんな人かを聞き取らせ、ペアで聞き取れたことを確認させる。</p> <p>・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。</p> <p>・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ、日本語で不定詞（名詞的用法）の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ 基本表現を本文で確認する。</p> <p>・ Practiceを行い、基本文の定着を図る。</p> <p>・ 自分が目標とする人についてペアで話し合いノートに書く。</p> <p>【評】 目標とする人について話したり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。</p> <p>・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。</p> <p>・ 閉本した状態でリスニングをさせ、メグと海斗がしたいことを聞き取らせ、ペアで聞き取れたことを確認させる。</p> <p>・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○ 不定詞（名詞的用法）の疑問文の形・意味・用法を知る ○ 基本表現の学習をする。 ○ Practiceに取り組む。 ○ 書く活動に取り組む。 <p>4 Mini Activity 学習事項を用いて、行きたい国とそこでしたいことを尋ねたり答えたりする活動を行う。</p> <p>★行きたい国とそこでしたいことを尋ねたり答えたりする活動を行おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Listenを行う。 ○ Speak & Writeを行う。 ○ 自分の行きたい国やそこでしたいことをテーマにスモールトークを行う。 ○ ペアが行きたい国としたいことについて書く。 ○ ペアが行きたい国やしたいことの紹介をテーマに、スモールトークを違うペアと行う。 <p>5 Story3 発表を聞いて、人やものの様子を伝える表現を学習する。</p> <p>★人やものの様子を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Teacher's Talk を聞き、質問に答える。 ○ 本文と質問を聞き、問題に答える。 ○ 本文の学習をする。 ○ 〈look＋形容詞〉を用いた文の形・意味・用法を知る。 ○ 基本表現の学習をする。 ○ Practiceに取り組む。 ○ 書く活動に取り組む。 <p>6 Unit Activity ポスターを作ろう。</p> <p>★世界的問題や地域の問題についてのポスターを作成し、社会へ向けて問題提起をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターに書きたい内容を決める。 ○ 内容について尋ね合おう。 ○ ポスターを作成しよう。 ○ 完成されたポスターを机上に置き、ギャラリーウォークを行う。 ○ 最もよくできている作品に付箋を貼る。 ○ ルーブリック表を基に振り返りをする。 <p>7 単元テストに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。 ・ Key Sentenceを見せ、日本語で不定詞（名詞的用法）の疑問文の形・意味・用法を確認する。 ・ 基本表現が本文のどこで使われているかを確認する。 ・ Practiceを行い、基本文の定着を図る。 ・ 学校のALTに日本で食べたいものや行きたい場所を尋ねる文を言ったり書いたりする。 【評】 食べたいものや行きたい場所を尋ねたり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 学習事項の確認として文法を意識させる。 ・ 教師が行きたい国やしたいことを話したり、全体に尋ねたりして活動の見本を示す。 ・ 質問から始めて1分間ペアで話し合わせる。 ・ 相手が話した内容について書き取らせる。 ・ 忘れた場合はもう一度英語で聞く時間を与える。 【評】 ペアの話を書きとる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 時間に余裕があれば違うペアと再度行う。 ・ 前のペアが話していた内容についても紹介できるとよい。 ・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。 ・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。 ・ 閉本した状態でリスニングをさせ、教科書の写真についてどんなことを言っているかを聞き取らせ、ペアで聞き取れたことを確認させる。 ・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。 ・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。 ・ Key Sentenceを見せ、日本語でlook＋形容詞を用いた文の形・意味・用法を確認する。 ・ 基本表現が本文のどこで使われているかを確認する。 ・ Practiceを行い、基本文の定着を図る。 ・ 教師が電子黒板に普段の天気や他の教師の写真を提示し、どのように見えるかをペアで話し合い、ノートに書かせる。 【評】 普段の天気や他の教師の様子を話したり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 世界的な問題だけでなく、すぐに取り組みそうな地域的な課題や、学校内の課題にも目を向けるよう促す。 ・ それぞれが考えた内容について、1分間でスモールトークとして尋ね合わせる。 ・ タブレットを使用して、作成させる。 ・ 写真やイラストを活用させる。 【評】 ポスター作成への活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 完成したポスターを机上に置いた状態で、教室内を付箋を持って周らせ、気に入ったポスターに付箋を貼らせる。 ・ 各自、ルーブリック表を基に自己評価をさせる。
---	--

★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。

○単元テストに取り組む。

○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。

【評】単元テストを通して、学習事項についての「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。

各授業の帯活動として、p56を利用した会話練習を「スモールトーク」として定期的に行っていき、英語を言語として使用することに慣れさせていきたい。

各Story最後の書く活動では、タブレットで書かせた答えを教師用タブレットに提出させ、全員の文を提示しながら添削していくとよい。

SDGsの紹介を行い、各地域の国際交流センターなどがあれば担当の方と交渉をして、完成したポスターを掲示させてもらえると、より意味のある活動につなげることができる。また、その国際センターに掲示された様子を学校のHPなどで紹介したい。